

瀬峡（看板）

奈良、三重、和歌山の 3 県の県境にまたがるこの北山川流域は、全長 31km の瀬峡の一部です。

高さ 50m の断崖絶壁は、約 7 千万年前に海から隆起した堆積岩の層から形成されました。その

後、岩盤は溶岩に熱されて硬化し、浸食されにくくなりました。非常に長い年月にわたって、この岩盤

の硬さによって川の流れは両岸を広げるのではなく川底を深く削り、徐々に険しい峡谷が削り出され

ました。

輸送から観光へ

北山川は 600 年以上もの間、この険しい山々を通る重要な交通水路としての役割を果たしまし

た；特に、鬱蒼と茂った森から伐採したたくさんの木材を、筏で川を下って運ぶ筏師（log drivers）

には不可欠でした。（筏師たちが材木を運んだ後、家まで歩いて帰るのに使った「筏師の道」の一部

は、現在ハイキングコースとして整備されています）。つい最近まで、この地域は道路もなく、孤立し

ていて、川が唯一の交通経路でした。しかし、19 世紀後半にこの峡谷の切り立った崖や奇岩の

数々、エメラルド色の水の評判が広まると、観光客が訪れるようになり、瀬峡は 1936 年に吉野熊

野国立公園の一部に指定されました。現在では、伝統的な筏からモーターボートまで、さまざまな河

川交通手段で峡谷の往来を楽しむことができます。1965 年には道路が完成し、アクセスがさらに容

易になりました。

川下り

この下流域のボートツアーは、階段を下った河岸で手配できます。流れの緩やかなこの水辺は、スタンド・アップ・パドルリングやカヤック、そしてちょっとした水遊びにもぴったりです。